

# 調査結果の概要

## 学校調査

### 1 小学校

#### (1) 学校数 [表1、統計表1・22]

ア 学校数は851校で、前年度より6校減少している。

イ 設置者別では、国立3校(構成比0.4%)、公立839校(同98.6%)、私立9校(同1.1%)である。

#### (2) 学級数 [表1、統計表9・22]

ア 学級数は11,962学級で、前年度より225学級(1.9%)増加している。

イ 設置者別では、国立51学級(構成比0.4%)、公立11,809学級(同98.7%)、私立102学級(同0.9%)である。

ウ 学級編成別では、単式学級10,667学級(構成比89.2%)、複式学級93学級(同0.8%)、75条の学級1,202学級(同10.0%)である。

表1 小学校の学校数及び学級数 (校、学級)

区分	学校数			学級数				
	国立	公立	私立	単式	複式	75条		
平成12年度	861	3	849	9	11,675	10,610	88	977
13	861	3	849	9	11,683	10,554	90	1,039
14	860	3	848	9	11,695	10,500	89	1,106
15	857	3	845	9	11,737	10,483	96	1,158
16	851	3	839	9	11,962	10,667	93	1,202

#### (3) 児童数 [表2、図1、統計表11・22]

ア 児童数は324,849人で、前年度より367人増加している。

昭和56年度の536,442人をピークに22年連続して減少していたが、23年ぶりに増加している。

イ 設置者別では、国立1,663人(構成比0.5%)、公立319,709人(同98.4%)、私立3,477人(同1.1%)である。

ウ 男女別では、男166,262人(構成比51.2%)、女158,587人(同48.8%)である。

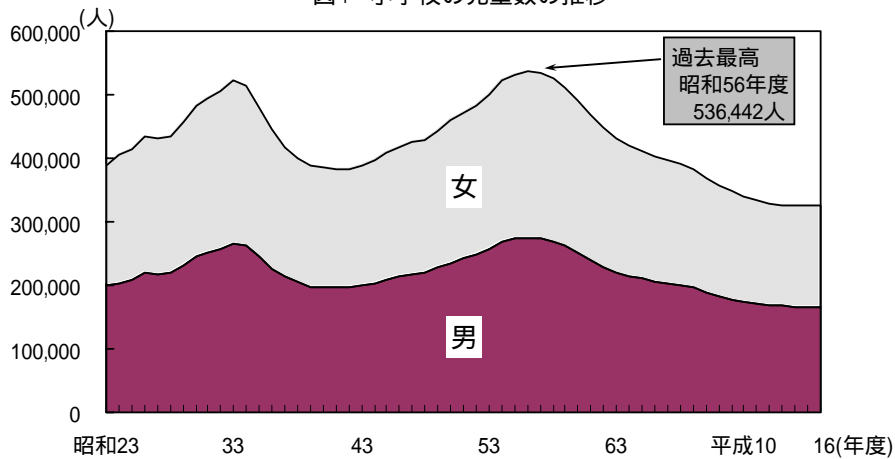
エ 1学級当たりの児童数は27.2人(全国値26.3人)で、前年度より0.4人減少している。

オ 教員(本務者)1人当たりの児童数は18.3人(全国値17.4人)で、前年度より0.2人減少している。

表2 小学校の児童数 (人)

区分	児童数			1学級当たりの児童数		教員(本務者)1人当たりの児童数	
	男	女		全国値		全国値	
平成12年度	328,760	168,707	160,053	28.2	27.1	19.2	18.1
13	326,213	167,212	159,001	27.9	26.9	18.9	17.9
14	324,517	166,254	158,263	27.7	26.7	18.7	17.6
15	324,482	166,198	158,284	27.6	26.5	18.5	17.5
16	324,849	166,262	158,587	27.2	26.3	18.3	17.4

図1 小学校の児童数の推移

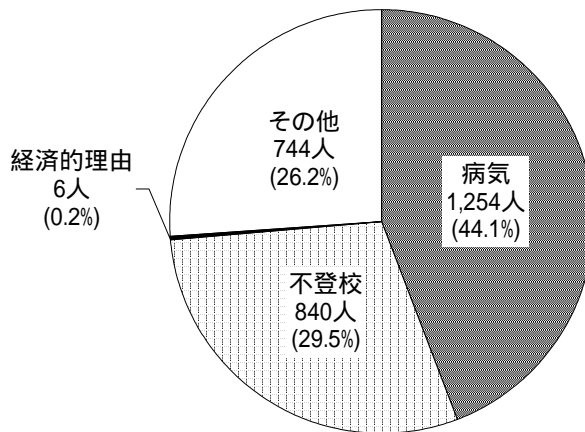


(4) 長期欠席児童数 [図2、統計表15・22]

ア 平成15年度間に連続して又は断続して30日以上欠席した児童は2,844人で、前年度より110人減少している。これは全児童の0.9%(前年度と同じ比率)に当たる。

イ 理由別の内訳では、病気1,254人(構成比44.1%)、経済的理由6人(同0.2%)、不登校840人(同29.5%)、その他744人(同26.2%)である。

図2 小学校の理由別長期欠席児童数



(5) 教員数(本務者) [表3、統計表18・22]

ア 教員数(本務者)は17,728人で、前年度より206人(1.2%)増加している。

イ 男女別では、男6,529人(構成比36.8%)、女11,199人(同63.2%)で、女性教員の占める比率は、前年度と同じである。

表3 小学校の教員数(本務者) (人)

区分	教員数(本務者)	
	男	女
平成12年度	17,158	10,915
13	17,255	10,973
14	17,388	11,027
15	17,522	11,072
16	17,728	11,199

## 2 中学校

### (1) 学校数 [表4、統計表1・23]

ア 学校数は405校で、前年度と同数である。

イ 設置者別では、国立3校(構成比0.7%)、公立361校(同89.1%)、私立41校(同10.1%)である。

### (2) 学級数 [表4、統計表9・23]

ア 学級数は5,075学級で、前年度より73学級(1.4%)減少している。

イ 設置者別では、国立30学級(構成比0.6%)、公立4,705学級(同92.7%)、私立340学級(同6.7%)である。

ウ 学級編成別では、単式学級4,605学級(構成比90.7%)、75条の学級470学級(同9.3%)である。

表4 中学校の学校数及び学級数 (校、学級)

区分	学 校 数				学 級 数			
	国立	公立	私立		単式	複式	75条	
平成12年度	403	3	362	38	5,431	5,034	-	397
13	404	3	363	38	5,340	4,919	-	421
14	405	3	363	39	5,240	4,809	-	431
15	405	3	363	39	5,148	4,694	-	454
16	405	3	361	41	5,075	4,605	-	470

### (3) 生徒数 [表5、図3、統計表11・23]

ア 生徒数は162,779人で、前年度より3,845人(2.3%)減少し、昭和62年度以降(昭和61年度の生徒数273,732人)18年連続して減少しており、過去最低となっている。

イ 設置者別では、国立1,047人(構成比0.6%)、公立148,826人(同91.4%)、私立12,906人(同7.9%)である。

ウ 男女別では、男83,012人(構成比51.0%)、女79,767人(同49.0%)である。

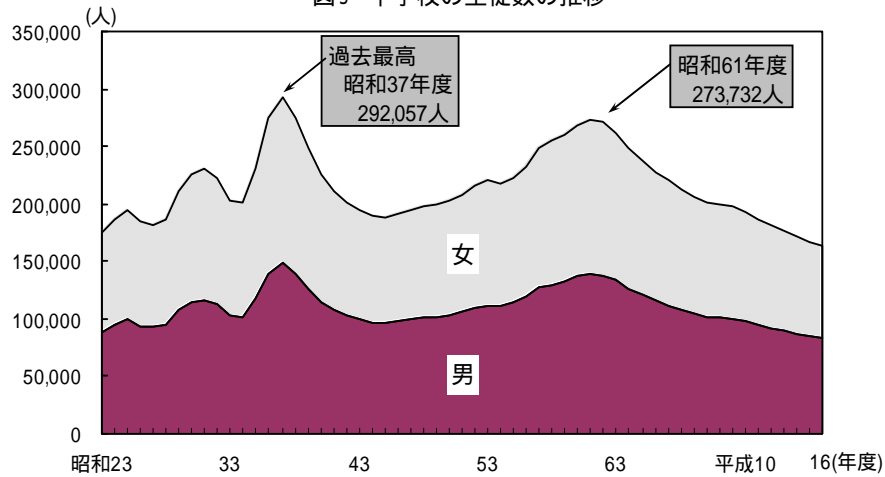
エ 1学級当たりの生徒数は32.1人(全国値31.0人)で、前年度より0.3人減少している。

オ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は15.3人(全国値14.7人)で、前年度より0.3人減少している。

表5 中学校の生徒数 (人)

区分	生 徒 数			1学級当たり の生徒数		教員(本務者)1人 当たりの生徒数	
	男	女		全国値	全国値	全国値	
平成12年度	181,109	91,842	89,267	33.3	32.4	16.4	15.9
13	176,206	89,739	86,467	33.0	32.1	16.1	15.6
14	170,952	87,302	83,650	32.6	31.7	15.8	15.2
15	166,624	85,065	81,559	32.4	31.3	15.6	14.9
16	162,779	83,012	79,767	32.1	31.0	15.3	14.7

図3 中学校の生徒数の推移

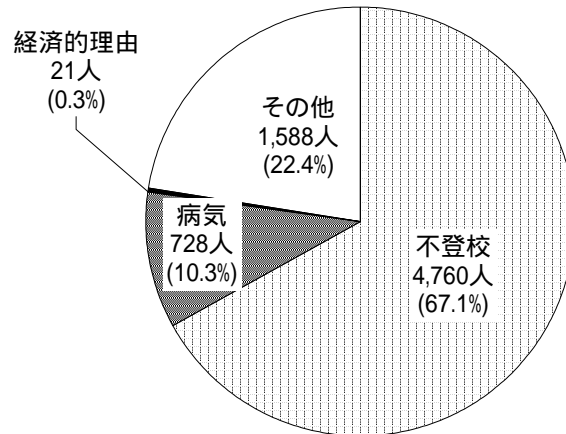


(4) 長期欠席生徒数 [図4、統計表15・23]

ア 平成15年度間に連続して又は断続して30日以上欠席した生徒は7,097人で、前年度より183人増加している。これは、全生徒の4.4%(前年度より0.4ポイント上昇)に当たる。

イ 理由別の内訳では、病気728人(構成比10.3%)、経済的理由21人(同0.3%)、不登校4,760人(同67.1%)、その他1,588人(同22.4%)である。

図4 中学校の理由別長期欠席生徒数



(5) 教員数(本務者) [表6、統計表18・23]

ア 教員数(本務者)は10,645人で、前年度より66人(0.6%)減少している。

イ 男女別では、男6,633人(構成比62.3%)、女4,012人(同37.7%)で、女性教員の占める比率は、前年度より0.2ポイント低下している。

表6 中学校の教員数(本務者) (人)

区分	教員数(本務者)	
	男	女
平成12年度	11,027	4,125
13	10,940	4,116
14	10,822	4,077
15	10,711	4,056
16	10,645	4,012

### 3 高等学校

#### (1) 学校数 [表7、統計表1・4・24]

- ア 学校数は231校で、前年度より1校減少している。
- イ 設置者別では、公立179校(構成比77.5%)、私立52校(同22.5%)である。
- ウ 課程別では、全日制独立校199校(構成比86.1%)、定時制独立校20校(同8.7%)、全日制・定時制併置校12校(同5.2%)である。

#### (2) 学級数 [表7、統計表9・24]

学級数(教科外活動としてホームルーム活動を行うために編成されている公立学校本科の学級数)は3,162学級で、前年度より94学級(2.9%)減少している。

表7 高等学校の学校数及び学級数 (校、学級)

区分	学 校 数						学級数
	設置者別		課程別				
	公立	私立	全日制	定時制	併置		
平成12年度	228	176	52	195	22	11	3,569
13	229	177	52	196	22	11	3,485
14	230	178	52	197	22	11	3,368
15	232	180	52	198	22	12	3,256
16	231	179	52	199	20	12	3,162

#### (3) 生徒数 [表8、図5・6、統計表11・12・24]

- ア 生徒数は159,320人で、前年度より3,833人(2.3%)減少し、平成元年度の245,779人をピークに15年連続して減少している。
- イ 設置者別では、公立119,719人(構成比75.1%)、私立39,601人(同24.9%)である。
- ウ 男女別では、男79,021人(構成比49.6%)、女80,299人(同50.4%)である。
- エ 本科の生徒数は159,161人で、課程別にみると全日制152,641人(構成比95.9%)、定時制6,520人(同4.1%)である。  
専攻科の生徒は159人である。
- オ 本科の学科別生徒数をみると、普通科123,615人(構成比77.7%)、工業科11,917人(同7.5%)、商業科8,647人(同5.4%)、総合学科6,444人(同4.0%)の順となっている。
- カ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は14.7人(全国値14.5人)で、前年度より0.2人減少している。

表8 高等学校の生徒数

区分	生 徒 数								教員(本務者)1人 当たりの生徒数	
	男	女	本 科		専攻科	別科	全国値	14.5		
			全日制	定時制						
平成12年度	178,272	86,293	91,979	178,074	171,943	6,131	158	40	15.8	15.5
13	173,961	84,615	89,346	173,767	167,460	6,307	161	33	15.5	15.2
14	168,290	82,470	85,820	168,101	161,714	6,387	161	28	15.2	15.0
15	163,153	80,425	82,728	162,971	156,556	6,415	155	27	14.9	14.7
16	159,320	79,021	80,299	159,161	152,641	6,520	159	-	14.7	14.5

図5 高等学校の生徒数の推移

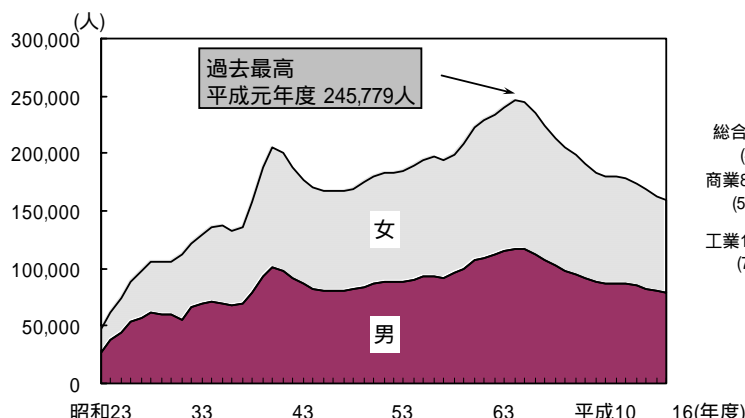
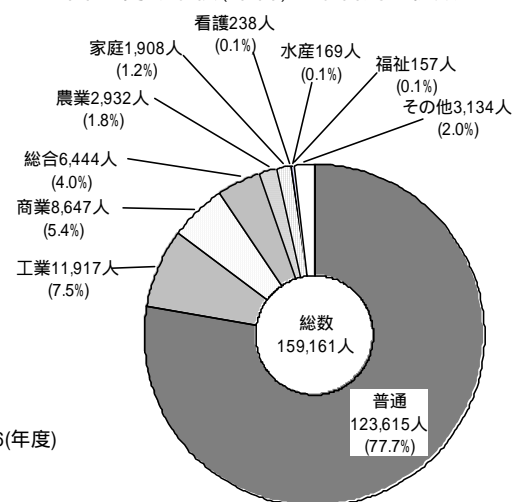


図6 高等学校(本科)の学科別生徒数



(4) 入学状況(本科) [表9、統計表16]

ア 入学志願者は87,190人で、前年度より2,014人(2.3%)減少している。

イ 入学者数は53,051人で、前年度より1,005人(1.9%)減少している。

男女別では、男26,408人(構成比49.8%)、女26,643人(同50.2%)である。

ウ 入学者のうち他府県所在の中学校卒業者は705人(構成比1.3%)、過年度中学校卒業者は479人(同0.9%)である。

表9 高等学校(本科)の入学志願者数及び入学者数

区分	入学志願者数		入学者数			入学率			
	a		b			b / a × 100			
	男	女	男	女	男	女	女		
計	87,190	42,798	44,392	53,051	26,408	26,643	60.8	61.7	60.0
公立	47,577	24,017	23,560	39,665	19,722	19,943	83.4	82.1	84.6
私立	39,613	18,781	20,832	13,386	6,686	6,700	33.8	35.6	32.2
全日制計	84,589	41,110	43,479	50,929	25,039	25,890	60.2	60.9	59.5
公立	44,976	22,329	22,647	37,543	18,353	19,190	83.5	82.2	84.7
私立	39,613	18,781	20,832	13,386	6,686	6,700	33.8	35.6	32.2
定時制計	2,601	1,688	913	2,122	1,369	753	81.6	81.1	82.5
公立	2,601	1,688	913	2,122	1,369	753	81.6	81.1	82.5
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-

同一人が2以上の学校に入学志願した場合は、それぞれの学校の入学志願者として計上されるので入学志願者数は延数である。

(5) 教員数(本務者) [表10、統計表18・24]

ア 教員数(本務者)は10,854人で、前年度より65人(0.6%)減少している。

イ 男女別では、男7,979人(構成比73.5%)、女2,875人(同26.5%)で、女性教員の占める比率は、前年度より0.7ポイント上昇している。

表10 高等学校の教員数(本務者)

区分	教員数(本務者)		
	男	女	
平成12年度	11,284	8,515	2,769
13	11,218	8,405	2,813
14	11,044	8,248	2,796
15	10,919	8,105	2,814
16	10,854	7,979	2,875

(6) 通信制 [統計表1・11・18・25]

ア 学校数は2校で、前年度と同数である。

イ 生徒数は2,650人(男1,188人、女1,462人)で、前年度より164人(5.8%)減少している。

ウ 教員数(本務者)は50人(男36人、女14人)で、前年度より2人(3.8%)減少している。

#### 4 中等教育学校 [表 11、統計表 26]

##### (1) 学校数

学校数は1校(公立1校)である。

##### (2) 学級数

学級数は4学級で、前年度より2学級増加している。

##### (3) 生徒数

生徒数は157人で、前年度より77人増加している。

##### (4) 教員数(本務者)

教員数(本務者)は18人で、前年度より6人増加している。

表11 中等教育学校の学校数、学級数、生徒数及び教員数(本務者) (校、学級、人)

区分	学校数	前期課程				後期課程				教員数 (本務者)
		学級数	生徒数		学級数	生徒数				
			男	女		男	女			
平成12年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
15	1	2	80	33	47	-	-	-	12	
16	1	4	157	57	100	-	-	-	18	

中等教育学校とは、平成10年の学校教育法の改正により創設された学校制度で、本県では平成15年度より設置している。

#### 5 盲・聾・養護学校

##### (1) 盲学校 [表 12、統計表 1・9・11・18・27]

###### ア 学校数

学校数は3校(県立2校、市立1校)で、前年度と同数である。

###### イ 学級数

学級数は48学級で、前年度より4学級減少している。

###### ウ 在学者数

在学者数は109人(男75人、女34人)で、前年度より11人(9.2%)減少している。

###### エ 教員数(本務者)

教員数(本務者)は125人で、前年度より1人(0.8%)減少している。男女別では、男70人(構成比56.0%)、女55人(同44.0%)で、女性教員の占める比率は、前年度より1.2ポイント低下している。

表12 盲学校の学校数、学級数、在学者数及び教員数(本務者) (校、学級、人)

区分	学校数	学級数	在学者数				教員(本務者)1人 当たりの在学者数		教員数 (本務者)	
			幼稚部	小学部	中学部	高等部	全国値			
平成12年度	3	51	137	6	25	20	86	1.05	1.18	131
13	3	50	129	4	20	19	86	1.04	1.16	124
14	3	51	128	6	21	19	82	1.03	1.14	124
15	3	52	120	3	18	18	81	0.95	1.14	126
16	3	48	109	3	21	11	74	0.87	1.14	125

(2) 聾学校 [表13、統計表1・9・11・18・28]

ア 学校数

学校数は5校(県立5校)で、前年度と同数である。

イ 学級数

学級数は64学級で、前年度より3学級増加している。

ウ 在学者数

在学者数は219人(男121人、女98人)で、前年度と同数である。

エ 教員数(本務者)

教員数(本務者)は171人で、前年度より2人(1.2%)減少している。男女別では、男75人(構成比43.9%)、女96人(同56.1%)で、女性教員の占める比率は、前年度より1.7ポイント低下している。

表13 聾学校の学校数、学級数、在学者数及び教員数(本務者)

区分	学校数	学級数	在学者数				教員(本務者)1人 当たりの在学者数		教員数 (本務者)	
			幼稚部	小学部	中学部	高等部	全国値			
平成12年度	5	61	221	57	64	29	71	1.26	1.40	176
13	5	63	237	72	56	39	70	1.35	1.39	175
14	5	64	230	70	56	42	62	1.31	1.37	175
15	5	61	219	62	56	45	56	1.27	1.36	173
16	5	64	219	60	62	40	57	1.28	1.33	171

(3) 養護学校 [表14、統計表1・9・11・18・29]

ア 学校数

学校数は33校(国立1校、県立15校、市立17校)で、前年度と同数である。

イ 学級数

学級数は918学級で、前年度より1学級減少している。

ウ 在学者数

在学者数は3,223人(男2,067人、女1,156人)で、前年度より65人(2.1%)増加している。

エ 教員数(本務者)

教員数(本務者)は2,167人で、前年度より32人(1.5%)増加している。男女別では、男1,041人(構成比48.0%)、女1,126人(同52.0%)で、女性教員の占める比率は、前年度より0.6ポイント低下している。

表14 養護学校の学校数、学級数、在学者数及び教員数(本務者)

区分	学校数	学級数	在学者数				教員(本務者)1人 当たりの在学者数		教員数 (本務者)	
			幼稚部	小学部	中学部	高等部	全国値			
平成12年度	33	883	2,895	26	711	712	1,446	1.42	1.61	2,032
13	33	890	2,957	14	735	690	1,518	1.43	1.62	2,068
14	33	902	3,050	15	750	698	1,587	1.46	1.62	2,095
15	33	919	3,158	20	762	679	1,697	1.48	1.63	2,135
16	33	918	3,223	16	769	725	1,713	1.49	1.64	2,167



## 6 幼稚園

### (1) 学校数 [表15、統計表1・30]

ア 学校数は776園で、前年度より5園減少している。

イ 設置者別では、国立2園(構成比0.3%)、公立529園(同68.2%)、私立245園(同31.6%)である。

表15 幼稚園の学校数及び学級数

区分	学校数			学級数	
	国立	公立	私立		
平成12年度	801	2	548	251	3,060
13	797	2	545	250	3,090
14	789	2	539	248	3,130
15	781	2	532	247	3,152
16	776	2	529	245	3,138

### (2) 学級数 [表15、統計表9・30]

ア 学級数は3,138学級で、前年度より14学級(0.4%)減少している。

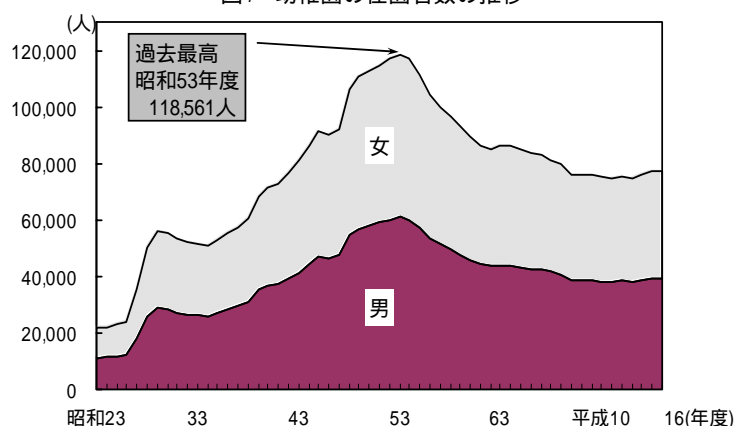
イ 設置者別では、国立10学級(構成比0.3%)、公立1,365学級(同43.5%)、私立1,763学級(同56.2%)である。

### (3) 在園者数 [表16、図7、統計表11・30]

ア 在園者数は76,908人(男39,025人、女37,883人)で、前年度より125人(0.2%)減少している。

イ 年齢別では、3歳児11,113人、4歳児28,955人、5歳児36,840人で、前年度より3歳児は349人増加し、4歳児で272人、5歳児で202人減少している。

図7 幼稚園の在園者数の推移



### (4) 修了者数 [表16、統計表30]

ア 修了者数は37,054人で、前年度より63人(0.2%)減少している。

イ 就園率(本年度の小学校第1学年の児童数に占める本年3月の幼稚園修了者の比率)は67.6%で、前年度より0.7ポイント低下している。

表16 幼稚園の在園者数及び修了者数

区分	在園者数						教員(本務者)1人当たりの在園者数		修了者数	就園率	
	男	女	3歳児	4歳児	5歳児	全国値	全国値	全国値		全国値	
									全国値		全国値
平成12年度	75,320	38,355	36,965	9,063	27,442	38,815	16.8	16.7	37,597	71.3	61.1
13	74,898	38,232	36,666	9,776	28,304	36,818	16.7	16.4	38,909	70.5	60.6
14	75,933	38,511	37,422	10,178	28,705	37,050	16.5	16.4	36,876	68.9	59.9
15	77,033	39,025	38,008	10,764	29,227	37,042	16.5	16.2	37,117	68.3	59.3
16	76,908	39,025	37,883	11,113	28,955	36,840	16.3	16.0	37,054	67.6	58.9

### (5) 教員数(本務者) [表17、統計表18・30]

ア 教員数(本務者)は4,716人で、前年度より45人(1.0%)増加している。

イ 男女別では、男163人(構成比3.5%)、女4,553人(同96.5%)で、女性教員の占める比率は、前年度と同じ比率である。

表17 幼稚園の教員数(本務者)

区分	教員数(本務者)		
	男	女	
平成12年度	4,486	143	4,343
13	4,491	152	4,339
14	4,601	158	4,443
15	4,671	162	4,509
16	4,716	163	4,553

## 7 専修学校

### (1) 学校数 [表18、統計表1・31]

学校数は99校(国立1校、公立9校、私立89校)で、前年度より1校減少している。

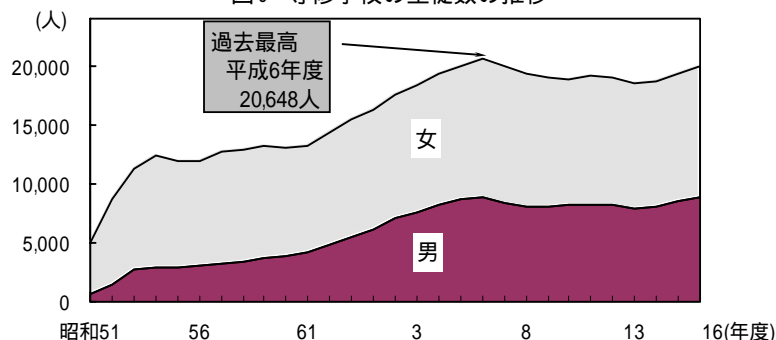
### (2) 生徒数 [表18、図8、10、統計表7・31]

生徒数は19,942人(男8,796人、女11,146人)で、前年度より582人(3.0%)増加している。

表18 専修学校の学校数及び生徒数 (校、人)

区分	学校数				生徒数					
	国立	公立	私立		男	女	高等課程	専門課程	一般課程	
平成12年度	100	4	11	85	18,929	8,138	10,791	3,861	15,068	-
13	101	4	11	86	18,468	7,968	10,500	3,347	15,121	-
14	100	3	10	87	18,678	7,997	10,681	2,691	15,987	-
15	100	3	9	88	19,360	8,573	10,787	2,491	16,869	-
16	99	1	9	89	19,942	8,796	11,146	2,276	17,666	-

図8 専修学校の生徒数の推移



### (3) 教員数(本務者) [表19、統計表31]

ア 教員数(本務者)は1,242人で、前年度より23人(1.8%)減少している。

イ 男女別では、男555人(構成比44.7%)、女687人(同55.3%)で、女性教員の占める比率は前年度より、1.4ポイント低下している。

表19 専修学校の教員数(本務者) (人)

区分	教員数(本務者)	
	男	女
平成12年度	1,175	681
13	1,211	683
14	1,203	682
15	1,265	717
16	1,242	687

図9 専修学校の学科数

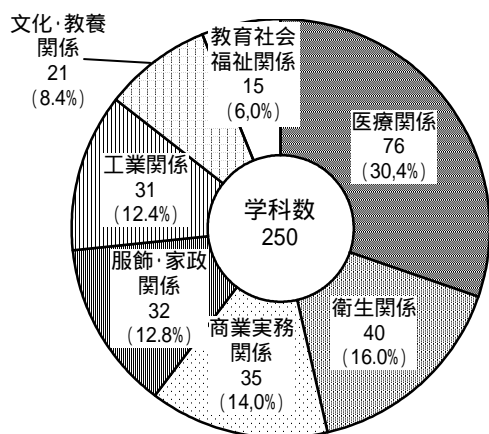
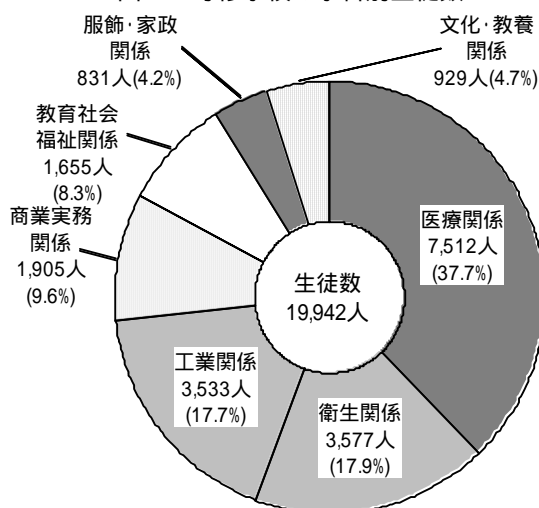


図10 専修学校の学科別生徒数



## 8 各種学校

### (1) 学校数 [表20、統計表1・32]

学校数は104校(私立104校)で、前年度より5校減少している。

### (2) 生徒数 [表20、図11、13、統計表8・32]

生徒数は10,181人(男4,983人、女5,198人)で、前年度より204人(2.0%)減少している。

### (3) 教員数(本務者) [表20、統計表32]

ア 教員数(本務者)は627人で、前年度より2人(0.3%)減少している。

イ 男女別では、男355人(構成比56.6%)、女272人(同43.4%)で、女性教員の占める比率は、前年度より1.3ポイント低下している。

表20 各種学校の学校数、生徒数及び教員数(本務者) (校、人)

区分	学校数	生徒数		教員数(本務者)			
		男	女	男	女	合計	
平成12年度	141	11,881	5,576	6,305	742	400	342
13	130	11,598	5,502	6,096	675	369	306
14	125	11,072	5,297	5,775	642	354	288
15	109	10,385	5,039	5,346	629	348	281
16	104	10,181	4,983	5,198	627	355	272

図11 各種学校の生徒数の推移

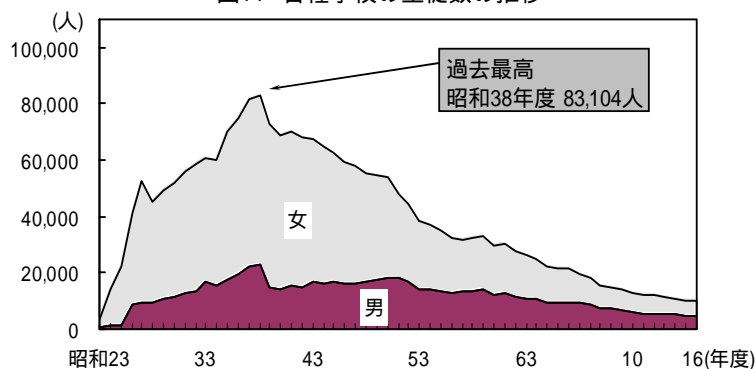


図12 各種学校の課程数

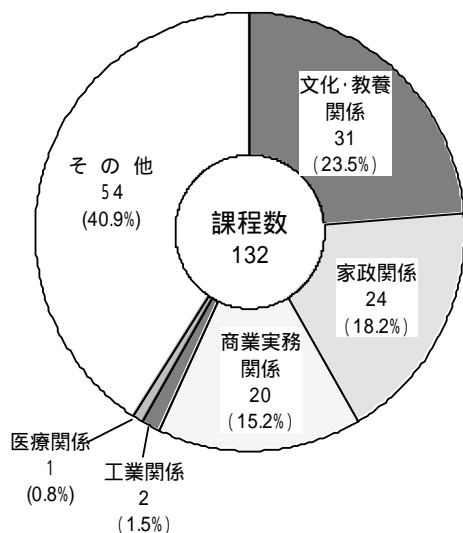
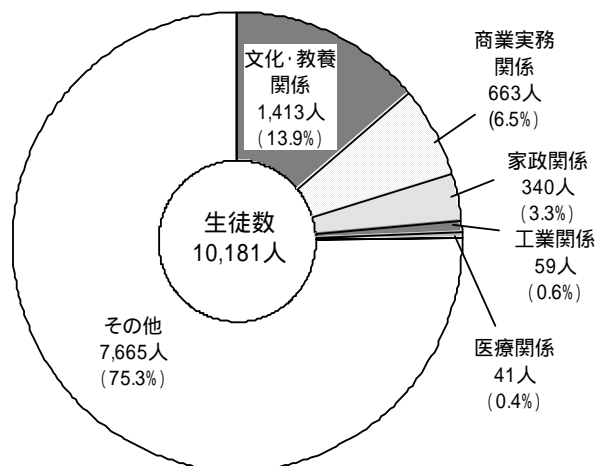


図13 各種学校の課程別生徒数



## 9 大 学

### (1) 学 校 数 [表21、統計表41・44]

- ア 学校数は36校で、前年度と同数である。
- イ 設置者別では、国立2校、公立6校、私立28校である。

### (2) 学 生 数 [表21、統計表43・44]

- ア 学生数は120,837人(学部108,911人、大学院9,085人、専攻科・別科等2,841人)で、前年度より229人(0.2%)減少している。
- イ 設置者別では、国立19,700人(構成比16.3%)、公立9,632人(同8.0%)、私立91,505人(同75.7%)で、前年度より国立は71人減少、公立は151人増加、私立は309人減少している。
- ウ 男女別では、男59,349人(構成比49.1%)で前年度より362人減少、女61,488人(同50.9%)で133人増加している。

### (3) 教 員 数(本務者) [表21、統計表44]

教員数(本務者)は5,526人で、前年度より137人(2.5%)増加している。

区分	学校数	学 生 数					教員数 (本務者)
		男	女	うち学部	うち大学院		
平成12年度	36	116,827	58,580	58,247	105,906	7,711	5,174
13	36	117,610	58,776	58,834	106,468	8,193	5,261
14	36	119,669	59,388	60,281	108,188	8,459	5,364
15	36	121,066	59,711	61,355	109,359	8,648	5,389
16	36	120,837	59,349	61,488	108,911	9,085	5,526

### (4) 学部学生及び大学院学生 [表22、統計表45・48]

- ア 学部学生は108,911人(男52,199人、女56,712人)で、前年度より448人(0.4%)減少している。  
関係分野別にみると、「社会科学関係」42,228人(構成比38.8%)が最も多く、次いで「人文科学関係」31,324人(同28.8%)、「保健関係」6,691人(同6.1%)の順となっている。  
昼夜別では、昼間107,738人(構成比98.9%)、夜間1,173人(同1.1%)である。
- イ 大学院学生は9,085人で、前年度より437人(5.1%)増加している。  
課程別にみると、修士課程5,932人(男3,591人、女2,341人)、博士課程2,646人(男1,700人、女946人)、専門職学位課程507人(男384人、女123人)である。  
関係分野別では、「社会科学関係」1,967人(構成比21.7%)が最も多く、次いで「保健関係」1,111人(同12.2%)、「人文科学関係」1,001人(同11.0%)の順となっている。

表22 大学の関係分野別学生数

(人、%)

区分	学 部				大 学 院			
	男	女	構成比		男	女	構成比	
計	108,911	52,199	56,712	100.0	9,085	5,675	3,410	100.0
人文科学関係	31,324	6,779	24,545	28.8	1,001	349	652	11.0
社会科学関係	42,228	29,704	12,524	38.8	1,967	1,424	543	21.7
理 学 関 係	1,780	1,347	433	1.6	405	316	89	4.5
工 学 関 係	5,365	4,330	1,035	4.9	381	330	51	4.2
農 学 関 係	699	402	297	0.6	-	-	-	-
保 健 関 係	6,691	1,764	4,927	6.1	1,111	612	499	12.2
商 船 関 係	969	892	77	0.9	-	-	-	-
家 政 関 係	4,023	-	4,023	3.7	55	2	53	0.6
教 育 関 係	1,771	713	1,058	1.6	843	420	423	9.3
芸 術 関 係	2,214	967	1,247	2.0	78	38	40	0.9
そ の 他	11,847	5,301	6,546	10.9	3,244	2,184	1,060	35.7

## (5) 学部学生の入学状況 [表23、統計表46・47]

ア 大学学部への入学志願者数は155,630人で、前年度より10,494人(6.3%)減少している。

男女別では、男74,701人(構成比48.0%)で前年度より5,340人、女80,929人(同52.0%)で5,154人減少している。

イ 入学者数は25,996人で、前年度より466人(1.8%)減少している。

男女別では、男12,520人(構成比48.2%)で前年度より144人増加、女13,476人(同51.8%)で610人減少している。

卒業年次別にみると、平成16年3月(新規)高等学校卒業者が20,997人(構成比80.8%)と最も多く、平成15年3月高等学校卒業者3,555人(同13.7%)、平成14年3月以前高等学校卒業者755人(同2.9%)の順となっており、新規高等学校卒業者が占める比率は前年度より0.4ポイント上昇している。

入学者のうち12,133人(男5,714人、女6,419人)が県内高等学校出身者であり、その占める比率は46.7%で前年度と同率である。

表23 大学(学部)の入学志願者数及び入学者数 (人、%)

区分	入学志願者数		入学者数		
		うち新規高校 卒業生数		うち新規高校 卒業生数	うち県内高校 出身者数
計	155,630	114,345	25,996	20,997 (80.8)	12,133 (46.7)
男	74,701	48,065	12,520	9,235 (73.8)	5,714 (45.6)
女	80,929	66,280	13,476	11,762 (87.3)	6,419 (47.6)

( )は構成比

## 10 短期大学

### (1) 学校数 [表24、統計表49・51]

- ア 学校数は23校で、前年度と同数である。
- イ 設置者別では、公立1校、私立22校である。

### (2) 学生数 [表24、統計表51]

- ア 学生数は12,682人(本科12,360人、専攻科202人、その他120人)で、前年度より350人(2.7%)減少している。
- イ 男女別では、男1,337人(構成比10.5%)で前年度より114人増加、女11,345人(同89.5%)で464人減少している。

### (3) 教員数(本務者) [表24、統計表51]

教員数(本務者)は670人で、前年度と同数である。

表24 短期大学の学校数、学生数及び教員数(本務者) (校、人)

区分	学校数	学 生 数				教員数 (本務者)
		男	女	うち本科		
平成12年度	25	17,295	1,239	16,056	17,030	810
13	25	15,016	1,120	13,896	14,725	750
14	24	13,600	1,108	12,492	13,317	688
15	23	13,032	1,223	11,809	12,699	670
16	23	12,682	1,337	11,345	12,360	670

表25 短期大学の関係分野別本科学学生数

### (4) 本科学学生数 [表25、統計表52]

- ア 本科学学生数は12,360人で、前年度より339人(2.7%)減少している。
- イ 関係分野別にみると、「家政関係」3,989人(構成比32.3%)が最も多く、次いで「教育関係」3,871人(同31.3%)、「人文関係」1,711人(同13.8%)の順となっている。

(人、%)

区分	学 生 数			構成比
	男	女		
計	12,360	1,263	11,097	100.0
人 文	1,711	65	1,646	13.8
社 会	79	-	79	0.6
教 養	128	3	125	1.0
工 業	766	711	55	6.2
農 業	41	41	-	0.3
保 健	615	60	555	5.0
家 政	3,989	42	3,947	32.3
教 育	3,871	224	3,647	31.3
芸 術	722	75	647	5.8
その他	438	42	396	3.5

### (5) 本科学学生の入学状況 [表26、統計表53・54]

- ア 短期大学の本科への入学志願者数は15,835人で、前年度より1,387人(9.6%)増加している。  
男女別では、男1,089人(構成比6.9%)で前年度より128人、女14,746人(同93.1%)で1,259人それぞれ増加した。
- イ 入学者数は5,925人で、前年度より312人(5.0%)減少している。  
男女別では、男626人(構成比10.6%)で前年度より14人増加し、女5,299人(同89.4%)で326人減少している。

卒業年次別にみると、平成16年3月(新規)高等学校卒業者が5,551人(構成比93.7%)と最も多く、平成15年3月高等学校卒業者139人(同2.3%)、平成14年3月以前高等学校卒業者134人(同2.3%)、その他101人(同1.7%)の順となっており、新規高等学校卒業者が占める比率は前年度と同率である。

入学者のうち3,680人(男311人、女3,369人)が県内高等学校出身者であり、その占める比率は62.1%で前年度より0.9ポイント低下している。

表26 短期大学(本科)の入学志願者数及び入学者数 (人、%)

区分	入学志願者数		入学者数		
		うち新規高校 卒業生数		うち新規高校 卒業生数	うち県内高校 出身者数
計	15,835	14,733	5,925	5,551 (93.7)	3,680 (62.1)
男	1,089	852	626	501 (80.0)	311 (49.7)
女	14,746	13,881	5,299	5,050 (95.3)	3,369 (63.6)

( )は構成比

## 11 高等専門学校

### (1) 学校数 [表27、統計表55]

ア 学校数は2校で、前年度と同数である。

イ 設置者別では、国立1校、公立1校である。

### (2) 学生数 [表27、統計表55]

ア 学生数は2,130人(本科2,010人、専攻科116人、その他4人)で、前年度より6人(0.3%)増加している。

イ 男女別では、男1,787人(構成比83.9%)で前年度より11人増加し、女343人(同16.1%)で5人減少している。

### (3) 教員数(本務者) [表27、統計表55]

教員数(本務者)は165人で、前年度と同数である。

表27 高等専門学校の学校数、学生数及び教員数(本務者) (校、人)

区分	学校数	学 生 数						教員数 (本務者)
		男	女	本科	専攻科	その他		
平成12年度	2	2,064	1,693	371	1,960	104	-	164
13	2	2,112	1,734	378	1,986	126	-	164
14	2	2,124	1,758	366	2,004	120	-	165
15	2	2,124	1,776	348	2,006	118	-	165
16	2	2,130	1,787	343	2,010	116	4	165

### (4) 本科学生の入学状況 [統計表57]

ア 入学志願者数は862人で、前年度より63人(7.9%)増加している。

イ 入学者は409人で、前年度より2人(0.5%)増加している。うち平成16年3月(新規)中学校卒業者は408人(構成比99.8%)で、その占める比率は前年度と同じ比率である。

# 卒業後の状況調査

## 1 中学校

### (1) 卒業生数 [表28、図15、統計表58・70]

- ア 本年3月の卒業生数は57,521人で、前年より825人(1.4%)減少している。
- イ 男女別では、男29,435人(構成比51.2%)、女28,086人(同48.8%)である。
- ウ 設置者別では、国立352人(構成比0.6%)、公立52,917人(同92.0%)、私立4,252人(同7.4%)である。

### (2) 卒業生の進路状況 [表28、図15、統計表58・70]

- ア 高等学校等進学者は55,946人で、前年より809人(1.4%)減少している。  
男女別では、男28,535人(構成比51.0%)、女27,411人(同49.0%)である。  
高等学校等進学率は97.3%で、前年と同率である。これを男女別にみると、男96.9%、女97.6%で、女子が男子を上回る傾向が続いている。  
進路別にみると、高等学校本科が54,469人(構成比97.4%)と最も多く、次いで高等専門学校431人(同0.8%)、盲・聾・養護学校高等部348人(同0.6%)の順となっている。  
高等学校等進学者のうち、他県への進学者は2,806人(男1,867人、女939人)で、前年より100人(3.7%)増加している。
- イ 専修学校(高等課程)進学者は156人(男95人、女61人)で、前年より70人(31.0%)減少し、専修学校(高等課程)進学率は0.3%で、前年より0.1ポイント低下している。
- ウ 専修学校(一般課程)等入学者は92人(男41人、女51人)で、前年より14人(17.9%)増加している。

表28 中学校の進路別卒業生数

(人、%)

区分	計	高等学校等進学者 A	専修学校(高等課程)進学者 B	専修学校(一般課程)等入学者 C	公共職業能力開発施設等入学者 D	就職者 E	左記以外の者	死亡・不詳の者	左記A～Dのうち就職している者(再掲)	高等学校等進学率		就職率
										全国値		
平成12年3月	64,401	62,649	208	123	75	642	688	16	220	97.3	97.0	1.3
13	62,446	60,486	217	104	73	775	780	11	196	96.9	96.9	1.6
14	60,395	58,616	223	73	49	592	817	25	155	97.1	97.0	1.2
15	58,346	56,755	226	78	48	452	783	4	121	97.3	97.3	1.0
16	57,521	55,946	156	92	47	466	809	5	111	97.3	97.5	1.0

- (注) 1 「高等学校等進学者」とは、高等学校、中等教育学校後期課程、高等専門学校又は盲・聾・養護学校高等部に進学した者をいう。  
 2 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校の一般課程又は各種学校に入学した者をいう。  
 3 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の高等学校等に入学した者又はA～Eの各項目に該当しない者で進路が未定であることをいう。  
 4 「就職率」とは、卒業者のうち「E就職者」及び「左記A～Dのうち就職している者(再掲)」の占める割合である。



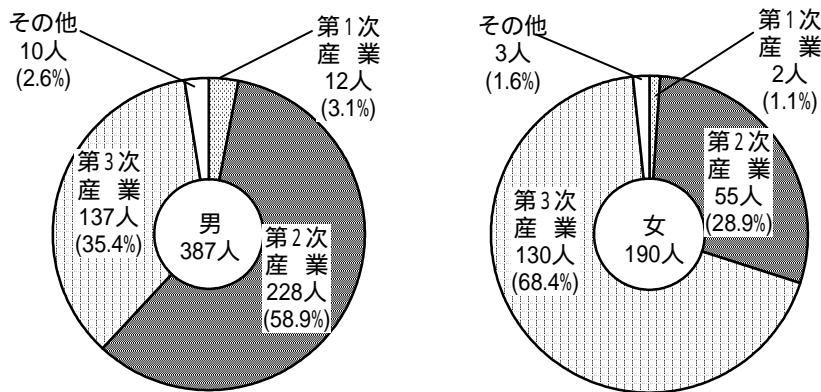
(3) 就職者数 [表28、図14・15、統計表58・60・70]

ア 就職者総数は577人(就職者466人、「高等学校等進学者」「専修学校(高等課程)進学者」「専修学校(一般課程)等入学者」「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者111人)で、前年より4人(0.7%)増加している。

イ 就職率は1.0%(男1.3%、女0.7%)で、前年と同率である。

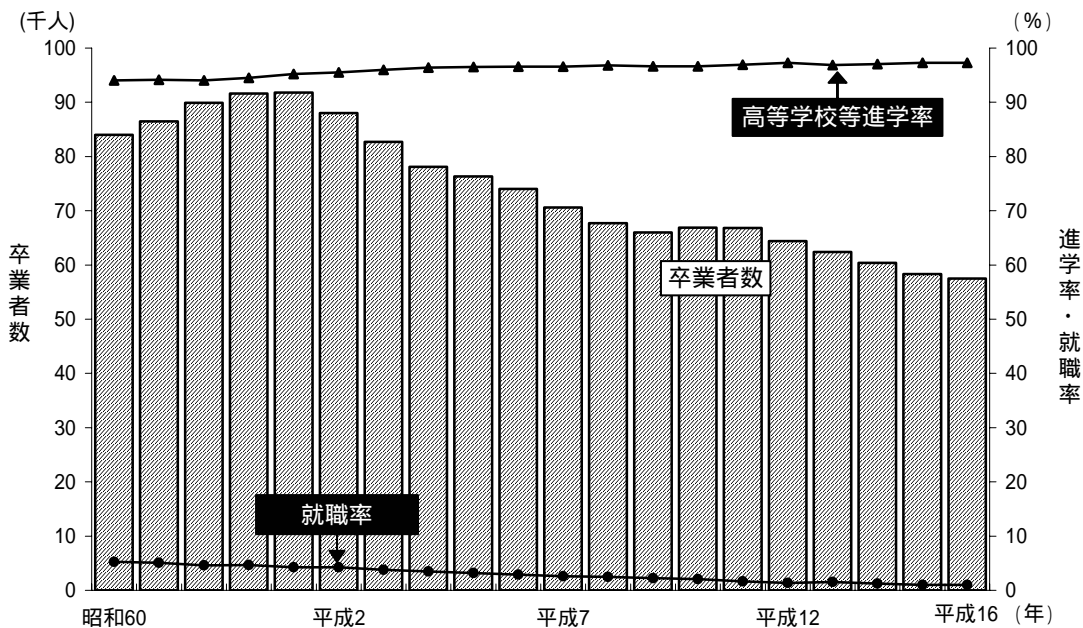
就職者を産業別にみると、第2次産業が283人(構成比49.0%)で最も多く、次いで第3次産業が267人(同46.3%)、第1次産業14人(同2.4%)、その他13人(同2.3%)となっている。

図14 中学校卒業者の産業別就職者数



(注) 第1次産業とは、農業、林業、漁業をいう。  
 第2次産業とは、鉱業、建設業、製造業をいう。  
 第3次産業とは、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、飲食店、宿泊業、医療、福祉、教育、学習支援業、複合サービス事業、サービス業、公務、及び分類不能の産業をいう。

図15 中学校の卒業生数、進学率、就職率の推移



## 2 高等学校

### (1) 卒業生数 [表29、図17、統計表62・71]

- ア 本年3月の卒業生数は52,951人で、前年より1,717人(3.1%)減少している。
- イ 男女別では、男25,813人(構成比48.7%)、女27,138人(同51.3%)である。
- ウ 設置者別では、公立40,109人(構成比75.7%)、私立12,842人(同24.3%)である。

### (2) 卒業生の進路状況 [表29・30、図17、統計表62・63・71]

- ア 大学等進学者は27,993人で、前年より710人(2.5%)減少している。  
男女別では、男12,891人(構成比46.1%)、女15,102人(同53.9%)である。  
大学等進学率は52.9%で、前年より0.4ポイント上昇している。これを男女別にみると、男49.9%、女55.6%で、女子が男子を上回る傾向が続いている。  
大学等進学者を進路別にみると、大学(学部)への進学者が23,053人(構成比82.4%)と最も多く、次いで短期大学(本科)への進学者が4,831人(同17.3%)、高等学校(専攻科)64人(同0.2%)の順となっている。
- イ 専修学校(専門課程)進学者は8,952人(男3,499人、女5,453人)で前年より115人(1.3%)増加し、専修学校(専門課程)進学率は16.9%で前年より0.7ポイント上昇している。
- ウ 専修学校(一般課程)等入学者は4,642人(男3,312人、女1,330人)で、前年より732人(13.6%)減少している。
- エ 大学等への志願状況は、大学学部への志願率が53.6%で前年より0.6ポイント低下し、短期大学本科への志願率が9.5%で前年より0.5ポイント低下している。

表29 高等学校の進路別卒業生数

区分	計	大学等進学者 A	専修学校(専門課程)進学者 B	専修学校(一般課程)等入学者 C	公共職業能力開発施設等入学者 D	就職者 E	一時的な仕事に就いた者 F	左記以外の者	死亡・不詳の者	左記A~Dのうち就職している者(再掲)	大学等進学率		就職率
											全国値	就職率	
平成12年3月	56,099	31,297	7,787	4,687	150	8,045	...	4,126	7	133	55.8	45.1	14.6
13	56,798	31,009	8,177	5,185	172	7,826	...	4,428	1	84	54.6	45.1	13.9
14	56,352	29,737	8,485	5,805	197	7,487	...	4,628	13	53	52.8	44.8	13.4
15	54,668	28,703	8,837	5,374	163	7,114	...	4,470	7	41	52.5	44.6	13.1
16	52,951	27,993	8,952	4,642	185	6,913	1,647	2,616	3	32	52.9	45.3	13.1

(注)1 「大学等進学者」とは、大学・短期大学(通信教育・別科を含む)、高等学校(専攻科)に進学した者をいう。

2 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校(一般課程)又は各種学校へ入学した者をいう。

3 「一時的な仕事に就いた者」は従来「左記以外の者」に包含されていたが、卒業後の状況として、進学も就職もしていない者が近年増加していることから、実態を把握するため、本年度より新たに調査項目となった。

4 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の大学等に入学した者又はA~Fの各項目に該当しない者で進路が未定である者をいう。

5 「就職率」とは、卒業者のうち「E就職者」及び「左記A~Dのうち就職している者(再掲)」の占める割合である。

表30 高等学校卒業生の大学等入学志願者数

区分	計 A	計		大学(学部)		短期大学(本科)	
		入学志願者 B	志願率 B/A×100	入学志願者 C	志願率 C/A×100	入学志願者 D	志願率 D/A×100
平成12年3月	56,099	36,702	65.4	29,579	52.7	7,123	12.7
13	56,798	37,251	65.6	30,811	54.2	6,440	11.3
14	56,352	36,884	65.5	30,968	55.0	5,916	10.5
15	54,668	35,086	64.2	29,633	54.2	5,453	10.0
16	52,951	33,394	63.1	28,387	53.6	5,007	9.5

(3) 就職者数 [表29、図16・17、統計表62・65・66・67・71]

ア 就職者総数は6,945人(就職者6,913人、「大学等進学者」「専修学校(専門課程)進学者」「専修学校(一般課程)等入学者」「公共職業能力開発施設等入学者」のうち就職している者32人)で、前年より210人(2.9%)減少している。

イ 就職率は13.1%(男15.9%、女10.4%)で、前年と同率である。

ウ 就職者のうち自家・自営業については216人(構成比3.1%)、職業安定所又は学校を通じて就職した者は5,405人(同77.8%)である。

エ 就職者を職業別にみると、「生産工程・労務作業者」が3,623人(構成比52.2%)で最も多く、次いで「サービス職業従事者」1,396人(同20.1%)、「販売従事者」717人(同10.3%)の順となっている。

オ 産業別では、「製造業」が2,972人(構成比42.8%)と最も多く、次いで「卸売・小売業」832人(同12.0%)、「サービス業」726人(同10.5%)の順となっている。

カ 県外へ就職した者は968人(男676人、女292人)で、全体の13.9%である。

図16 高等学校卒業者の産業別就職者数

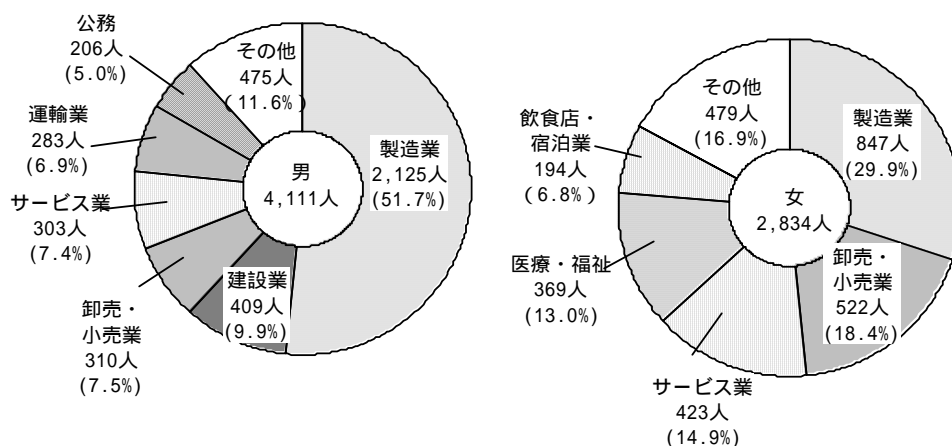
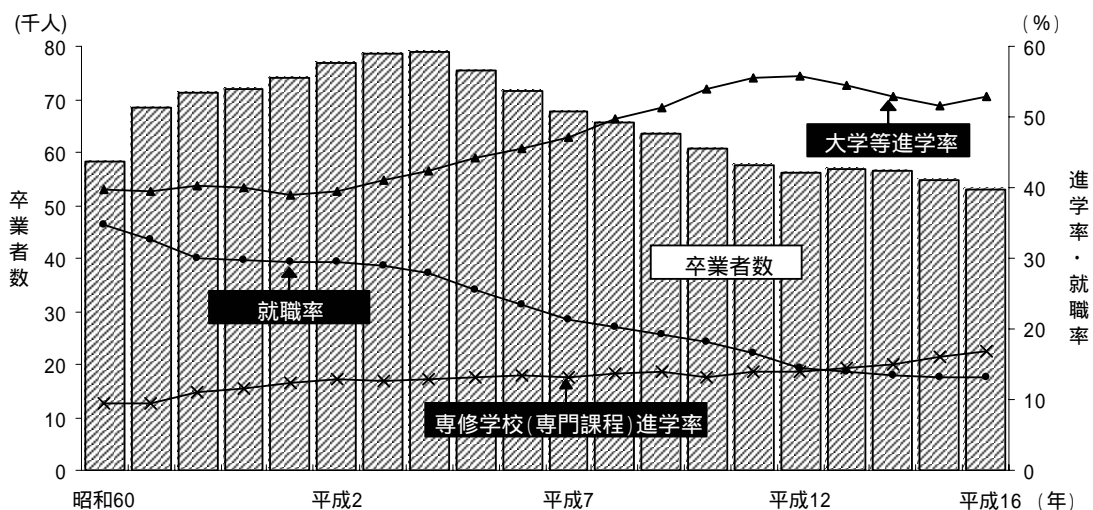


図17 高等学校の卒業生数、進学率、就職率の推移



### 3 盲・聾・養護学校

#### (1) 中学部 [表31、統計表61]

ア 本年3月の卒業生数は241人で、前年より31人(11.4%)減少している。

イ 男女別では、男153人(構成比63.5%)、女88人(同36.5%)である。

表31 盲・聾・養護学校(中学部)の進路別卒業生数

(人、%)

区分	計	高等学校等進学者 A	専修学校(高等課程)進学者 B	専修学校(一般課程)等入学者 C	公共職業能力開発施設等入学者 D	就職者 E	左記以外の者 F	死亡・不詳の者	左記A~Dのうち就職している者(再掲)	左記Fのうち社会福祉施設等入所、通所者(再掲)	高等学校等進学率	就職率
平成12年3月	237	227	-	-	-	1	9	-	-	6	95.8	0.4
13	243	231	-	-	-	-	10	2	-	8	95.1	-
14	242	230	-	-	-	-	12	-	-	9	95.0	-
15	272	266	-	-	-	-	6	-	-	4	97.8	-
16	241	232	-	-	-	-	9	-	-	6	96.3	-

- (注)1 「高等学校等進学者」とは、高等学校、中等教育学校後期課程、高等専門学校又は盲・聾・養護学校高等部に進学した者をいう。  
 2 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校(一般課程)又は各種学校へ入学した者をいう。  
 3 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の高等学校等に入学した者又はA~Eの各項目に該当しない者で進路が未定である者をいう。  
 4 「就職率」とは、卒業者のうち「E就職者」及び「左記A~Dのうち就職している者(再掲)」の占める割合である。

#### (2) 高等部 [表32、統計表68・69]

ア 本年3月の卒業生数は556人で、前年より41人(8.0%)増加している。

イ 男女別では、男326人(構成比58.6%)、女230人(同41.4%)である。

ウ 大学等進学者は10人(男6人、女4人)で、盲・聾・養護学校高等部専攻科へ6人進学している。

エ 社会福祉施設等入所、通所者は302人(男165人、女137人)で、その内訳は、授産施設に208人(構成比68.9%)、更正施設51人(同16.9%)、児童福祉施設27人(同8.9%)、医療機関16人(同5.3%)である。

表32 盲・聾・養護学校(高等部)の進路別卒業生数

(人、%)

区分	計	大学等進学者 A	専修学校(専門課程)進学者 B	専修学校(一般課程)等入学者 C	公共職業能力開発施設等入学者 D	就職者 E	左記以外の者	死亡・不詳の者	左記A~Dのうち就職している者(再掲)	左記Fのうち社会福祉施設等入所、通所者(再掲)	大学等進学率	就職率
平成12年3月	521	17	5	1	18	109	369	2	-	277	3.3	20.9
13	503	17	3	1	23	95	362	2	-	264	3.4	18.9
14	502	10	-	-	26	83	383	-	-	272	2.0	16.5
15	515	11	3	-	16	90	395	-	-	298	2.1	17.5
16	556	10	5	-	17	99	423	2	-	302	1.8	17.8

- (注)1 「大学等進学者」とは、大学・短期大学(通信教育・別科を含む)、高等学校(専攻科)に進学した者をいう。  
 2 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校(一般課程)又は各種学校へ入学した者をいう。  
 3 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の大学等に入学した者又はA~Eの各項目に該当しない者で進路が未定である者をいう。  
 4 「就職率」とは、卒業者のうち「E就職者」及び「左記A~Dのうち就職している者(再掲)」の占める割合である。

## 不就学学齢児童生徒調査 [表33、統計表76・77]

- ア 不就学学齢児童生徒の総数は118人(就学免除者29人、就学猶予者89人)で、前年度より9人(8.3%)増加している。
- イ 1年以上の居所不明者は3人で、前年度より3人減少している。
- ウ 平成15年度間の学齢児童生徒死亡者数は37人で、前年度と同数である。

表33 不就学学齢児童生徒数 (人)

区分	就学免除者					就学猶予者					居所不明	死亡
	計	男		女		計	男		女			
		6~11歳	12~14歳	6~11歳	12~14歳		6~11歳	12~14歳	6~11歳	12~14歳		
平成12年度	14	5	3	4	2	43	20	11	8	4	2	45
13	16	8	3	4	1	60	25	9	14	12	6	46
14	18	8	4	6	-	73	28	10	22	13	6	47
15	22	8	3	9	2	87	44	7	26	10	6	37
16	29	8	6	10	5	89	45	11	25	8	3	37

## 学校施設調査

### 1 学校建物面積 [統計表78]

ア 私立の建物面積は1,635,847㎡(設置者所有1,619,087㎡、借用16,760㎡)で、前年度より2,588㎡(0.2%)増加している。

設置者所有の建物を構造別にみると、鉄筋コンクリート1,250,736㎡(構成比77.2%)が最も多く、次いで鉄骨造・その他322,012㎡(同19.9%)、木造46,339㎡(同2.9%)である。

イ 公立(専修学校)の建物面積は29,741㎡(設置者所有28,235㎡、借用1,506㎡)で、前年度と同数である。

設置者所有の建物を構造別にみると、鉄筋コンクリート26,186㎡(構成比92.7%)が最も多く、次いで木造1,512㎡(同5.4%)、鉄骨造・その他537㎡(同1.9%)である。

### 2 学校土地面積 [統計表78]

ア 私立の土地面積は5,395,307㎡(設置者所有4,866,172㎡、借用529,135㎡)で、前年度より49,455㎡(0.9%)増加している。

イ 公立(専修学校)の土地面積は44,589㎡(設置者所有36,632㎡、借用7,957㎡)で、前年度と同数である。